

○新見出ノ植物

横濱植物會々員 久内清孝

●**けていかかづら** 相州浦賀ニ産ス けていかかづら (*Trachelospermum jasminoides* Lxv. var. *pubescens* Makino.)
 ハ往年牧野大人ノ播州明石ニ得ラレシモノニシテ「タイプ」ト異ル所ハ葉裏中肋ニ沿フテ有毛ノ事ナリ余本年五月五日之ヲ相州浦賀町宇鴨居ノ山中ニ得タリ

因ニ云フていかかづらノ學名ガ往々 *Trachelospermum divaricatum* ト記シアリト雖ドモ是レ穩カナラズ此名稱ヲ製セシモノ先ニカニツ (*KANTZ*) 氏アリ後ニシュートン (*K. SCHUMANN*) 氏アリ共ニツンベルグ (*THUNBERG*) 氏ガ我ていかかづらノ學名トシテ記セル *Merium divaricatum* L. ノ種名ヲ探リタルモノナレドモ然シ此ツンベルグ氏ノ記セシ名ハリンネ (*LINEE*) 氏ガ印度産ノ一植物ニ命ゼシ名稱ヲ誤テ我ていかかづらニ附セシモノナレバ此學名ノ種名ヲ探ッテいかかづらノ學名ヲ製スルハ正當ナラズシュートン氏ノ如キ學者モ亦千慮ノ一失ハ偶ニ之アリシト見ユ此リンネ氏ノ名ハ後ニ *Tabernaemontana divaricata* R. Br. ト改メラル即チさんゆうくわノ學名ナリ

●**うつぎノ一極端品ニ就テ** うつぎ即チうのはな (*Deutzia scabra* Thunb.) ノ品中ニハ花梗等ニ特ニ毛ノ著シキモノト然ラザルモノトアリ何レモ一變種中ノ現象ニ過ギズト雖ドモ特ニ毛ノ多キモノハ其一「フォーム」トシテ考ヘ得ラレザルニ非ラズ然シテカ、ルモノハ近道各地ニ普通ナリ

●**相州箱根ノニ羊齒** 本年二月十一日函嶺ノ雪景ヲ賞セント欲シ同日一番列車ニ投ジテ箱根ニ入ル碧空ノ下ニ全山皚々タル六花ニ包マレテ屹峙ス先ヅ双子山ノ頂ヲ極メテ關八州ヲ脚下ニ俯瞰シ山陽ノ史眼ヲ偲ビ蘆ノ湯ニ浴シテ瀧坂ヲ下ル坂路ノ一地點岩側雪斑ナル處ニ一羊齒其處ニ在ルヲ發見ス雪布ヲ披キテ之レヲ檢スレバおほくじゃくしだ (*Dryopteris Dickinsii* C. Chr.) ナリ。本種ハ FRANCHET 及 SAVATIER 兩氏ニヨリ始メテ新種トナシ

「バイブル」ノ植物 (其二)

Aspidium Dickinsoni FRANCH. ET SAV. ノ新學名ヲ世上ニ發表セラレシモノニシテ其原標本ハ伊豆熱海ニ産セシモノナリ後 BAKER 氏アリテ其學名ヲ *Nephrodium Dickinsoni* BAKER. ト變更シ今日ハ *Dryopteris Dickinsoni* C. Chr. ト稱スルニ至レリ而シテ和名おほくじやくしだハ明治三十一年ニ始メテ牧野氏ノ命ズル所ニシテ即チ同年三月發行ノ植物學雜誌第十二卷第百三十三號ニ掲載シ且ツ『……………此三種「いはへご、たにへご、おほくじやくしだ」中いはへご及びおほくじやくしだノ兩種ハ形相互ニ相類シ其系譜極メテ遠カラズ而シテおほくじやくしだ之ヲいはへごニ比スレバ頗ル稀少ノ品種ニ屬ス相州箱根及比土佐横倉山ニ之レヲ産セリ』ナル牧野氏ノ文アリ松村博士ノ植物名鑑ニヨレバ「箱根、熱海、土佐」ニ産スト明記シアルガ此箱根並ニ土佐ノ兩產地ハ蓋シ上ノ牧野氏ニ據ラレタルモノナラン此ノ如ク本品ガ箱根ニ産スル事ハ敢テ新事實ニアラズトスルモ然モ余ハ前後十數回ノ同山旅行ニ於テ今回始メテ之レニ逢着シタルガ故ニ余ニ取リテハ誠ニ珍ニ感ズルナリ

超エテ同月十八日雨景ヲ賞シテ蘆ノ湖畔ニ過ギル時ニ權現社頭ノはこね竹叢中偶然赭色ノ一羊齒ノ生ズアルヲ認メタリ探リテ之ヲ觀ルニ曾テ本誌ノ第二號ニ於テ牧野主筆ノ發表セラレタルあかはなわらび (*Botrychium nipponicum* MAKINO.) ナリ此ニ於テ我ガ箱根ハ實ニ世界ニ於ケル本羊齒第二ノ產地トナル而シテ其原產地ハ埼玉縣膝折村ナリ

○「バイブル」ノ植物 (其二) (本誌第三號ヲ承ク)

篠崎信四郎

○創世記三ノ七、是ニおいて彼等ノ目俱に開テ彼等其裸體なるを知リ乃ち無花果樹の葉を綴テ裳を作れり、漢譯ニヨレバ二人目明自知裸體遂編蕉葉爲裳トアリ、いちぢくノ葉ヲ正シトナス裳ハ腰ヨリ下ヲ蔽フモノニシテ此場合ニテハ單ニ腰部ニ纏フ物ヲ指シタルナルベシ而シテアダム、エバガ其當時裳ヲ作ルニ用キシ植物ガ果シ